



|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。</li> <li>・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。</li> </ul>  |
| <p>④ 事業実施による環境の変化</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水源涵養や山地保全などの機能が十分に発揮できる森林が形成されている。</li> <li>・森林資源の充実に伴い、レクリエーション・保健機能等も充実している。</li> </ul>  |
| <p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>         | <p>本地域の人口は、年々減少傾向にある中、林業就業者数は、平成17年度の177人から平成27年度には225人に増加しているが、北海道内の傾向として他産業に比べて60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進められており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成していくことが課題である。さらに、森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効率的・効果的な森林施業を推進する必要がある。</p> <p>また、道内では大型のバイオマス発電施設が次々に稼働し、産業用資材の需要の高まりによって、木材需要が拡大しており、今後木材の安定的な供給を通じて、ますます地域経済の振興に寄与していくことが求められる。</p>  |
| <p>⑥ 今後の課題等</p>            | <p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画を踏まえて着実に事業を実施する必要がある。</p> <p>さらに、耐久性と利便性に富む路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入、保育作業の省力化など低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要である。</p> <p>また、これらの取組については、関連する地域の自治体や事業者と現地検討会等を通じて情報や技術の共有を図りながら、連携して取り組むことが求められる。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により 森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(稚内市)</p> <p>稚内市において森林環境保全整備事業により、植付等の更新作業や下刈や保育間伐等の保育作業が積極的に実施され、森林の有する多面的機能が発揮されたものと高く評価する。今後も適切な森林整備の実施とともに、民有林事業者等の見本となるような森林整備をお願いしたい。</p> <p>(猿払村)</p> <p>村内の森林のうち国有林の占める割合が高い猿払村において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できる。また、水産業が基幹産業となっている猿払村において、森林機能の中でも特に、水源涵養機能や土砂流出防止機能は水産資源を守っていくため非常に重要である。</p> <p>今後とも同事業の継続と国有林整備を要望するとともに、民有林事業者等の見本となるような、森林整備の実施及び管理をお願いしたい。</p> <p>(浜頓別町)</p> <p>森林環境保全整備事業により、当町の森林の多面的機能の発揮が促進され土砂流出が防止されたと評価し、観光地の付近の国有林が整備されたことから、まちの景観づくりにも寄与した。さらには、本事業の推進は、当町の森林施業者の担い手対策に大いに貢献したと考えられる。今後も当町の森林機能を保持していくため、総合的な森林整備を期待する。</p> <p>(中頓別町)</p> <p>国有林の占める割合が高い本町において、地球温暖化防止を目的とした森林整備が適切に実施され、良好な森林の形成と、森林の持つ多面的機能が発揮されたものと評</p> |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
|                               | <p>価できる。今後も民有林の模範となるような適切な整備と管理をお願いしたい。</p> <p>(枝幸町)</p> <p>総面積の81%が森林であり、このうち国有林が約半数を占めている当町において、森林整備が着実に実施され、森林機能の充実が図られることは、自然災害の防止機能をはじめ、当町の基幹産業である水産業・酪農業の振興においても、その機能は重要な役割を果たすものであり、当町国有林で実施された森林環境保全整備事業については十分に評価するものである。</p> <p>また、町内林業労働力の確保及び当町林業の推進等を図る観点からも、今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p>(豊富町)</p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進、森林の整備・保全及びその基盤となる林道等の路網整備の促進が図られたものと評価する。</p> <p>また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後とも同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p>(礼文町)</p> <p>本町は面積の殆どを国有林が占めており、離島という環境から水源涵養機能や土砂流出防止機能のほか、基幹産業である漁業への影響も大きく、森林の持つ多面的機能の促進整備は重要となっている。</p> <p>また、国有林の多くが国立公園に指定されており、自然環境の保全や有効理由を図ることも必要であり、今後適切で総合的な森林整備を要望する。</p> <p>(利尻町)</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことにより、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと十分に評価する。</p> <p>本町の基幹産業である漁業の振興に資する公益的機能の持続的発揮に今後も期待するとともに、近年発生している大規模な気象災害にも対応できる「気象災害に強い森林づくり」を展開して頂き、自然豊かな利尻島を守るため、今後においても同事業の継続を強く望む。</p> <p>(利尻富士町)</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。</p> <p>今後とも同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> |
| <p>森林管理局事業評価<br/>技術検討会の意見</p> | <p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>  |
| <p>評価結果</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 本地域は、農業の振興や漁場の保全に資する観点から、水源涵養機能を発揮するため、既に指定されている水源かん養保安林を一層充実することが求められていた。さらに、山地保全や地球温暖化防止対策のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも、継続的な事業の必要性が認められていた。</li> <li>・効率性： 現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良を行うとともに森林整備実施箇所へのアクセスの向上が図られた。<br/>また、森林整備においても、間伐、更新・保育作業等を行うに際しては、現地の状況等を踏まえつつ効率的に行うことに加え、路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システムによる間伐や、コンテナ苗等を活用し、伐採から造林までを一体的に行う「一貫作業システム」の積極的な導入を図ることにより効率性を確保している。</li> <li>・有効性： 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続き森林整備事業の効果が発現されるものと見込まれる。<br/>また、水源涵養や山地保全機能の発揮を通じて、地域の基幹産業である農業や漁業の振興に寄与していることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul>  |

※平成22年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

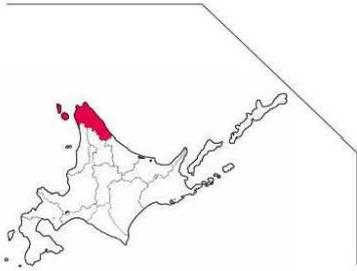
都道府県名：北海道

施行箇所：宗谷森林計画区(宗谷森林管理署)

(単位:千円)

| 大 区 分       | 中 区 分  | 評 価 額      | 備 考 |
|-------------|--|------------|-----|
| 水源涵養便益      | 洪水防止便益   | 12,783,695 |     |
|             | 流域貯水便益   | 2,047,309  |     |
|             | 水質浄化便益   | 7,448,720  |     |
| 山地保全便益      | 土砂流出防止便益   | 10,183,105 |     |
| 環境保全便益      | 炭素固定便益   | 2,493,221  |     |
| 木材生産等便益     | 木材生産経費縮減便益                                       | 58,110     |     |
|             | 木材利用増進便益   | 26,073     |     |
|             | 木材生産確保・増進便益                                      | 418,450    |     |
| 森林整備経費縮減等便益 | 森林管理等経費縮減便益                                      | 52,150     |     |
|             | 森林整備促進便益   | 286,930    |     |
| 総 便 益 (B)   |  | 35,797,763 |     |
| 総 費 用 (C)   |  | 3,859,995  |     |
| 費用便益比       | $B \div C = \frac{35,797,763}{3,859,995} = 9.27$ |            |     |

# 森林環境保全整備事業 宗谷森林計画区 (宗谷森林管理署) 事業概要図



宗 谷 海 峡

## 新設工事



## 植付



礼文町



利尻富士町



利尻町

日 本 海

宗谷森林管理署

稚内市

猿払村

豊富町

幌尻山

浜頓別町

知駒岳

中頓別町

オホーツク海

(留 萌)

枝幸町

函 岳

(上川北部)

(網走西部)

| 凡 例         |  |
|-------------|--|
| 国 有 林       |  |
| 主 要 山 岳     |  |
| 鉄 道         |  |
| 森 林 計 画 区 界 |  |
| 市 町 村 界     |  |
| 森 林 管 理 署   |  |

## 誘導伐



## 下刈



## 保育間伐

